



有鹿だより

海老名市立有鹿小学校
学校便り NO.6
令和5年8月28日発行

2学期スタート！

2学期が始まりました。子どもたちの元気な姿やにぎやかな声が学校に戻ってきました。1ヵ月会わなかった間に一段と大きくなった子どもたちの姿に、毎年のことながら驚きます。感染症対策等制限がなかった今年の夏休み、子どもたちは、どのように過ごしたのでしょうか。普段できない体験や経験を大いに楽しむ、そんな充実した毎日を送ることができていたらいいなと思います。25日(金)にはオンライン学活へご協力いただき、ありがとうございました。

長期休業中は、私たち教職員も、様々な研修会や研究会、体験活動に参加しました。昨年はオンライン開催や書面開催だったものも、今年は集合開催に戻り、久しぶりに活気ある中で自己研鑽に励むことができました。

この夏休みの間、有鹿小学校も変化がありました。校舎内は、本館と西館の教室や廊下、昇降口等の蛍光灯の電気がすべてLEDに替わり、とても明るくなりました。また、職員室等にあるコピー機やFAX機、電話機等の機器が久しぶりにリニューアルし、機器トラブルがなくなりました。子どもたちにとっても私たちにとっても、2学期からの学校生活がより豊かになりそうです。ただ1つ、寂しい気持ちになることがありました。校地内の樹木の伐採です。他校での台風等による倒木事案を受けて、市教育委員会からの指示のもと、樹木医さんに調査をしていただいたところ、校庭南側にある15本のサクラの木の中の6本のサクラの木についてご指摘を受けました。その内3本は倒木の危険性が非常に高いという診断でしたので、子どもたちが学校に戻ってくる前、夏休みの間に伐採する決断に至りました。残り3本につきましては、日程の詳細は未定ですが、年度内に伐採予定です。これまで何年、何十年と、卒業や入学という一大イベントを彩っていたサクラの木です。思い出もたくさんあることと思います。子どもたちの安全を第一に考えると、寂しくなりますが伐採も仕方ありません。有鹿小学校ができて、また、校地内の木々が植樹されて、それだけの年月が経ったのだなと改めて時の流れを感じました。保護者の皆さま、地域の皆さま、校庭のサクラの木の伐採につきまして、どうかご理解くださいますようお願い申し上げます。

2学期は1番長い学期で、学習や活動にじっくり取り組むことができます。大きな学校行事もたくさんあります。子どもたちは一人ひとり、目標をもって様々なことを一生懸命頑張るでしょう。そんな子どもたちを、2学期も温かく見守っていただき、また、引き続き本校の教育活動へご理解とご協力をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

校長 境 景子

「えびなっ子スクールあるか」が開催されました！

7月21・22日に学校応援団主催の「えびなっ子スクールあるか」が開催されました。学校応援団の方々をはじめ、保護者ボランティアの方々や中学生ボランティアの皆さんのご協力で、今年も無事に開催することができました。本当にありがとうございました。

どの学年も楽しい企画ばかりで、今年も子どもたちのたくさんの笑顔が見られました。